



# ほんべつ 議会だより

No.61

平成24年5月1日発行



## みんな元気にスタートダッシュ

4月15日 ほんべつ公園クロスカントリー大会



# 第1回定例会

**本別町太陽の丘循環バス運行条例の一部改正等を可決**  
 平成24年第1回定例会は3月6日に開会し、一般質問のほか本別町農産物ものづくり館条例の制定についてなどを審議し、全て原案どおり可決しました。審議された主な内容は次のとおりです。

## 条例

### 本別町農産物ものづくり館条例の制定

農産物の加工を通して、食育への理解を深め、地場産品の開発などの取り組みを推進し、地域経済の活性化を図るための拠点施設を設置するため制定されました。

**問** 土曜、日曜、祝日の利用並びに利用時間の延長は可能か。

**答** 希望があつて1週間前までに申し込みがあれば対応させていただきます。ただし、夜10時以降の延長は無理と考えています。

## 一般会計補正

### 教育委員会窃盗事件補償保険金

**問** 教育委員会で1月3日に発生した盗難事件の被害額は。

**答** 12万5千620円です。保険の対象になっていません。

### 重点分野雇用創造就業

**問** 応募がなかなか集まらなかつたのとありますが重点分野の創造就業として用意したメニュー

と、実際の事業にずれはなかったか。

**答** 1事業については、調理師に限定されており、最終的に雇用ができませんでした。ほかの3事業については雇用できました。ハローワークを通じて働く希望者が少なかつたと受けとめています。



観光協会事務局

## 介護保険事業特別会計補正

### 介護サービス給付費

**問** 介護サービスの給付費が伸びているという中身の実態は。

**答** 小規模多機能型介護サービスの充実により、在宅サービスの充実により、当初計画値を大幅に上回り、およそ7億2千万円程度に達する見込みです。利

用者増が主な理由で、達成率は12.2%を越えています。

**問** 伸びの実態を見る  
とき、サービスの受け皿としての状況はどうか。今後、伸びの部分を吸収していけるのか。

**答** ここ3、4年かけて小規模多機能型介護事業所を整備してきたので、給付費は延びてくると考えています。これからの力所では足りなくなるだろうと想定していますので、状況を見ながら、どうしても必要が出てきたら市街地に、もう1カ所考えていく必要があると思います。

## 人権擁護委員候補者に 前田友司氏(朝日町) 田口昭子氏(柏木町)

6月30日に任期満了となる人権擁護委員再任推薦は「適任」と答申しました。



4月23日にオープンした農産物ものづくり館

平成23年度 各会計補正予算

| 会計     | (補正額)<br>補正後の額                                    | 主な内容   |   |
|--------|---|--|---|
| 一般会計   | (36,131万3千円)<br>(内、臨時会26,619万3千円)<br>68億8,622万1千円 | 農業体質強化基盤整備促進事業 [臨時会]<br>国保、介護、介護サービス事業特別会計繰出金<br>病院事業会計負担金(救急医療確保経費)<br>スクールバス修理代<br>基金積立金 [定例会] |   |
| 特別会計   | 国民健康保険  | (△7,301万5千円)<br>13億1,682万9千円   | 一般被保険者等分療養給付費<br>高額医療費拠出金<br>基金積立       |
|        | 後期高齢者医療   | (155万2千円)<br>1億680万3千円   | 北海道後期高齢者医療連合納付金確定に伴う調整                  |
|        | 介護保険  | (7,937万円)<br>8億156万4千円   | 介護保険制度改正に伴う電算システム改修費<br>介護サービス給付費       |
|        | 介護サービス事業  | (216万9千円)<br>2億7,348万9千円   | 施設介護サービス事業人件費<br>介護材料、誘導灯修繕費            |
|        | 簡易水道  | (76万7千円)<br>9,346万6千円  | 美里別導水ポンプ場施設修繕費増額<br>新設量水器工事費減額          |
| 水道事業会計 | 公共下水道   | (△379万5千円)<br>4億7,696万9千円  | 汚水処理薬品費<br>汚水管渠新設工事、更新工事事業費確定<br>町債償還利子 |
|        | 水道事業会計  | (3万2千円)<br>2億2,230万4千円   | 浄水場コンプレッサー修繕費                           |
| 病院事業会計 | (696万1千円)<br>14億9,585万5千円                         | 薬品費  |   |

※臨時会補正含む

## 13回目のナイター議会 に32名の傍聴者

3月13日午後6時から役場3階議場でナイター議会が開催され、5議員より5問の一般質問がありました。



### 傍聴者アンケートから

**問** 一般質問について、どのように感じられましたか。

- ・町民目線、町民の立場に立った内容の質問にしていきたい。
- ・若年層の参加があればいいと思う。
- ・答弁が長かった。もう少し簡潔にしてほしいと思った。

## 第1回臨時会

## 第1回臨時会

開催日 2月22日

### 一般会計補正

農業体質強化基盤整備促進事業(明渠・暗渠排水調査設計委託・工事)

国民の安心・安全を確保する観点から、必要性、緊急性の高い追加財政需要に対応するための補正に対する質疑

### 問

今回の農家の希望件数と希望面積は。

1ヘクタール当たりの農家の負担額が50万円と聞くと、管内と比べてどうか。

### 答

昨年12月に取りまとめた、農協で全農家の聞き取り調査を実施し、受益戸数62戸、事業量は206ヘクタール、107圃場の要望です。ヘクタール当たり事業費は200万円、そのうち工事費180万円、調査設計費20万円です。

(農家負担は事業費の25%)

次の定例会は

6月11日から予定しています

私たちの住みまちの議会です  
どなたも自由に傍聴できます  
あなたも傍聴してみませんか



砂利暗渠事業

であり、道管畑総の単価を基準としていますので管内での差異はないと考えています。

# 一般質問

6名の議員から13問



## 政治・行政

**答** 地方自治制度における二元代表制の見解は  
独立対等の立場であり、スクラム組んで努力します



林 武議員

**林議員** 二元代表制は、地方自治制度の根幹をなすもので、執行機関の町長と議事機関の議会は、相互に均衡、抑制の取れた関係を保たなければなりません。時には対立するところがあっても、それぞれの役割と立場を生かしながら、地域経済の活性化と福祉向上のため議論を尽くすことが大切だと思いますが、この制度に対する見解を伺います。

**高橋町長** 執行機関の長と、議会の立場は独立対等の関係であり、互いに緊張感を持ち協力して責任持って自治体運営にあたる必要があります。

**林議員** 情報の共有化が前提にあります。職務権限の異なる町長と議会が民意の支持を競い合うべきと思いますが。

**高橋町長** 職員含め情報を共有して、全体的に町民の奉仕者として、これからも真摯に、未来に向かってしっかりとした本別を発信できるよう知恵もかりながら努力します。

**答** 町政執行方針について  
協働のまちづくりの意識を職員に



戸田 徹議員

**戸田議員** 3月定例会での町政執行方針について、以下4点について町長の考え方を伺います。

- ① 農業に関して、農業者と関係機関と連携を図り諸政策の具体化に向けて取り組む方針を打ち立っています。しかし町民からは行政と農協の連携に不備な点もあるとの声も聞かれるがどのようにとらえているのか。
- ② 特別養護老人ホームの建設、運営の考え方は。
- ③ 最近の農業機械は大型化が進んでいるが、これに対応する道路、橋梁の必要性は。
- ④ 行政力を発揮するまちづくりの考え方は。

**高橋町長** ①本町の農業政策の全般を見ていただければ、



執務風景

農業基盤を含めて他の町より遅れはないですし、農協との政策懇談会も実施しながら進めています。

②平成28年をめどに検討していきます。

③傷んだ町道は、相当改修しましたし、架けかえた橋もあります。

④職員が頑張ることによって、自分の町は自分でつくるという意識、「協働のまちづくり」を町民全体に根付かせたい。広げたい。

### 二元代表制とは

地域住民が、知事や市区町村長ら自治体の首長と都道府県や市区町村議会の議員を、別々の選挙で選ぶ仕組みのことです。



二元代表制の要



# 福祉

**第五期計画では介護保険料が引き上げになるがその理由は**

**答** 介護報酬の改定・在宅サービスの充実、80歳以上の人口増などによりります



高橋利勝議員

検討すべきと思うが。

**高橋町長** 第五期計画の介護保険料の算出については、介護報酬の改定や在宅サービスの充実、80歳以上の高齢人口の増加などにより介護給付費が増えることから引き上げとなりました。

また、介護予防日常生活支援給付事業につきましては、利用対象者のメニューを考えながら体制をとっていきます。

**高橋議員** 65歳以上の方はほとんど年金生活者であることから介護保険料の引き上げは生活を圧迫し、保険料の滞納、介護サービスをひかえるようにならないか。

**保健福祉課長** 生活の圧迫とならないよう、所得段階別保険料の段階を増やし配慮しました。

**高齢者や障がい者を支える仕組みについて(安心確認)**

**答** 早期に各関係者会議を持てるような体制を



黒山久男議員

**黒山議員** ①本町における高齢者や障がい者の、日々の安否確認の取り組みについて伺います。

②行政、自治会、民生委員等の安否確認の情報共有化システム確立が必要と思われるが、どのようなように考えているか。

③ライフライン業者（水道、ガス、電気等）による情報提供も必要と思われるが、その取り組みと考え方については。

**高橋町長** ①安心生活創造事業の調査結果に基づき、自治会や民生委員の方との情報共有を行う中で、見守りや声かけ、安否確認活動に努めます。

②情報がきちんと地域の人たち、担当者に行き渡るよう、



孤独死を伝える新聞記事

きめ細かく検討していきながら、的確な情報提供に努めます。

③有効な情報が得られるような手段であれば、積極的に本町として協力をいただけるような体制を取っていくよう進めています。



ゆうあいの里でくつろぐ皆さん



# 暮らし

## 勇足、仙美里、美里別地区公民館のバリアフリー化推進を

**答** 地区運営協議会のみなさんと協議して進めます

**高橋議員** 勇足、仙美里、美里別地区公民館の一層のバリアフリー化を推進するため、勇足、仙美里地区公民館のトイレの水洗化、美里別地区公民館の駐車場、入り口の階段、玄関戸などの改修が必要と思うが考え方は。

また、美里別地区公民館のスペースを活用して地域の振興を求める声がありますが、どのように受け止めるか。

**高橋町長・中野教育長** 勇足、

仙美里地区公民館のトイレの水洗化をはじめ、地区公民館の整備については、地区公民館運営協議会の皆さんの意見を聞きながら、国や道の事業を活用し進めます。

また、美里別地区公民館の地域振興のための活用については、地域の皆さんの意向を踏まえながら進めていきます。



美里別地区公民館

**高橋議員**

勇足地区公民館の小講堂のカーテンの取り替え、仙美里地区公民館テーブル、イスを軽いものに取り替えを望む声があるが。

**中野教育長** 調査し、改善できるものは改善していきます。

他に高橋議員から次の質問もありました

**問** 農業の6次産業化の推進を

**答** 若い世代の方々、女性サークルの方々などと連携して取り組んでいきます。

## 独り暮らしの方々への対応は

**答** 貸与するには一定の基準が必要ですが、地域の方々と協議し、前向きに対応します



大住啓一議員

**大住議員** 本町でお暮らしの高齢者の方々の世帯数は、総世帯数の約半数の1,920世帯です。

その中で、お独りで暮らしている高齢者の世帯数が700世帯を超える状況となっています。本町では早くから様々な施策を実践し、多くの実績を残してきたものと認識しています。しかし、地域の

方々や家族の方々の見守り、声かけ等を行っている状況にあっても、お一人で暮らしている方々の中には、一抹の不安を抱いている方もいます。

本町の制度として、緊急通報システムを導入しています。銀河福祉タウン計画策定の趣旨にもあります「いつまでも自分らしく暮らし続けるため」に「高齢者の方々への対応について考え方を伺います。

**高橋町長** 緊急通報システムは、緊急時の連絡手段を確保するため、平成20年に全額国庫の補助で65台から85台へ増設しています。貸与する場合は、一定基準が必要とされていますので、積極的に地域へ出向き、必要性の判断をし、皆さんの意見を聞いて、前向きに貸与できればと考えています。



緊急通報システム

貸与する場合は、一定基準が必要とされていますので、積極的に地域へ出向き、必要性の判断をし、皆さんの意見を聞いて、前向きに貸与できればと考えています。

# 非常時の上水道と簡易水道接続の具体化について

**答** 医療、文教ゾーンの弥生地区は100%給水可能

**戸田議員** 昨年8月の上水道

管事故から給水可能における非常時対策として検討してきた上水道と簡水への接続が実現するようですが具体的な活用方法について町長の考え方を伺います。

① 共栄、弥生町、栄町との水道管の大きさは。

② 3カ所のバルブを開いた場合の市街地の水の流れは。

③ 弥生地区(77戸)の給水状況は。

④ 勇足簡水の事故の場合は。  
⑤ 美里別簡水の事故の場合

は。  
⑥ 非常時における管理者不在時の接続判断は。

**高橋町長** ① 共栄は1000ミリ、弥生は50ミリ、栄町は75ミリ。

② 3カ所からの給水量は950m<sup>3</sup>見込めるため、市街地の70%は確保できます。

③ 医療、福祉、文教ゾ

ーンの弥生地区は60m<sup>3</sup>で100%給水が可能です。

④ ⑤は水圧が不足するため給水できない区域があります。

⑥ 早急に対応できるように進めていきます。



本町の医療・福祉ゾーン



# 農業

**ビートの作付け面積を確保する対策は**

**答** 8月をめどに、関係機関と共に支援体制を整備します

**大住議員** 本町の基幹産業で

ある農業を支えるビートの製糖作業は2月13日に終了しました。本町の経済を担う製糖工場の産糖量も年々減少し、製糖工場自体の存続も危惧されています。

ビートの作付け面積が減少することにより北海道糖業本別製糖所が窮地に陥っている状況になっています。この状況を打開するため、製糖所の職員の方々はもとより、JA本別町の役職員の方々、更には北海道糖業OBの方々により、各農家の皆さんに作付け面積を増やしていただくため、足を運んでいる状況にあります。製糖業は、原料のビートを多く収穫し、産糖量を多くすることで成り立ちます。

本町においては、作付け面積の確保が急務と思いますが、考え方を伺います。

**高橋町長** 今年になって、社

長さんが見えなくなった時も、作付け面積拡大の話はしていますし、「何でも、いつでも支援できる体制」を関係機関と協議し、8月までには方向性を示して、対策を講じて増産体制に向けて努力していきます。

他に大住議員から次の質問もありました

**問** 「旧名農産物加工施設」オープンにあたっての考え方は。

**答** 利用促進、製品開発に向けて努力していきます。



北糖ビート育苗のハウス

ものづくり博士



### 1999年付帯決議と小淵首相答弁とは

当時の政府答弁で、「児童生徒の内心にまで立ち至って強制しようとする趣旨のものでなく、あくまでも教育指導上の課題として指導を進めていくことを意味するものでございます。この考え方は1994年に政府の統一見解として示しておるところでございます。この考え方は変わるところはないと考えます」(1999年7月21日衆議院内閣委員会内閣総理大臣・小淵恵三)と答弁され、「内心にまで立ち至って強制」しないことが確認されている。国旗国家法は定義規定のみで、付帯決議でも強制しないことが明記された。



## 教育

**学校現場に強制はなじまない**  
**答 強制や処分は考えていません**



阿保静夫議員

**阿保議員** 学校における入学式、卒業式などの際、国家斉唱時に不起立の教員が処分された事例があります。

最高裁判所の判例は、懲戒以上の処分は不当としながらも、原告(教員)の敗訴となりましたが、5裁判官の判断は3対2と微妙でした。

今、学校現場で起こっていることは、**1999年当時の国会付帯決議及び小淵首相の「内信の自由は尊重される」としたことがまるでなかったこと**のように扱われていると感じますが、教育現場としての対応の考え方について伺います。

**中野教育長** 今まで国旗、国



## 農業

**農産物加工施設(農産物ものづくり館)の今後は**  
**答 講習会等を開催しながら多くの方の利用を目指します**

**阿保議員** 「時期尚早、建設反対」の意見もありましたが農産物加工施設が4月より供用開始となります。

① 課題としては、利用者、グループづくり(受け皿づくり)だと考えますが、今後どう進めていくのか伺います。

② 商品開発、研究の方向性は「日常性」がポイントであり「珍しいもの」ではなく、日常普段に食べている物の差別化が重要では。商品開発の基本的方向性は。

③ 旧開発センター(共栄)をサブ施設として活用する必要性も生じるのではと考えますが見解を伺います。

**高橋町長** ① 外部講師や専任職員によるものづくり講習会の開催、商品開発の相談会などを実施しながら受け皿作りを進めます。

② 日常的に、地元でできた



農産物ものづくり館内部

ものを町民の皆さんに愛してもらい、そこから徐々に広めていくことだと考えます。

③ サブ施設としての活用は無理ですが、ただ壊すことが目的ではなく、有効活用は別途考えます。

他に阿保議員から次の質問もありました

**問** ソーラー発電施設の誘致で『太陽の丘』の今後の利用計画の見直しの必要は。

**答** 福祉ゾーンには影響ないが運動公園計画は財政状況、人口構成の変化により大きく変更します。



登校風景

# 一般会計予算は63億423万8千円(前年比0.6%減)

平成24年度各会計予算審査特別委員会（阿保静夫委員長・11名）は、3月19日、21日に行われ、一般会計ほか6特別会計、2企業会計の予算案を原案のとおり可決しました。

本年度予算編成に当たっては、総合計画に掲げる本別町の主要課題である新たな仕事づくりの創造、少子高齢化対策の取り組み、高速自動車道路路網、高速通信網の利活用、循環型社会の構築、地産地消に重点を置いた施策・事業に配慮した予算編成を行いました。全会計をあわせた予算総額は1112億304万7千円で、対前年度比0.8%の増となっています。主な質疑内容は次のとおりです。

## 一般会計

### 防災マップ

**問** 全戸に配布する時期はいつごろなのか。

**答** 配布時期は、関係機関等と協議をしながら年明けか年度末を予定しています。

### 移住パンフレット

**問** 本町の移住パンフレットはどのような内容で作成するのか。

**答** 今年度は約3年間の8,000枚を予定しています。この間の

首都圏、関西圏での移住ブエア、北海道移住協議会でのPRと、空港、駅等で配布や設置をしていきます。

今後も受け入れについて引き続き努力していきます。

### 旧勇足駅トイレ

**問** 旧勇足駅は冬期間閉鎖しているため、建物周辺が汚れている実状があるが、地域の方々と相談をした上で取り進めるべきでは。

**答** 地域の方に一部、ご迷惑をかけている部分ではありますが、雪解けとともに周辺整備を進め対応し、共栄のトイレへのご

案内や冬期間の使用中止について今後も引き続きPRに努めていきます。

### 街路灯LED化

**問** LED化により、どのくらい電気料が変わったのか。

100%LED化された勇足市街



**答** 電気料については、自治会の中で100%移行したところがあり、変える前と比較し30から35%ほどの電気料金と聞いています。

### 南三陸町復興支援

**問** ①南三陸町への福興市参加支援の回数と24年度の福興市参加支援となった考え方は。

**答** ①南三陸町からの要請があり本町で対応できることは補正予算の対応を含めて積極的に支援していきます。

②高台移転計画準備に職員が不足していると聞くが支援の検討は。

③南三陸町が望むことで、こちらが対応できることはぜひとも対応していただきたいと考えるが。

**答** ①福興市の参加は、1回分の経費を予定しています。避難施設等とも考えましたが限定される部分があるため、町民が一堂に集まるこの福興市に本年度も参加します。

②長期の派遣で土木関係の職員という要請があり検討しましたが、今の状況で1年間は厳しいため、ほか

の部分でお手伝いできることがあれば積極的に支援していきたいと思っております。

③南三陸町からの要請があり本町で対応できることは補正予算の対応を含めて積極的に支援していきます。

### 戸籍電算システム導入

**問** 戸籍電算化の今年度の委託の内容は。

**答** 電算の導入は全国で90%、十勝管内では11町村とほとんどのところだが、導入に向け取り組んでいます。今年度は、25年度7月の稼働にむけ、4,600筆の戸籍を1件ずつパソコンに入力する作業となります。



住民課戸籍窓口

パスポート申請

**問** パスポートの申請手続きが役場でできるとおらえていいのか。

**答** ことしの10月より本町の窓口で交付になります。本町に住民登録されている方は本別町で申請交付ということになります。日数は、2週間程度と考えています。



パスポート

起業化支援奨励事業

**問** 企業の中で新たに別分野の事業展開をしていくという場合でも、対象になるのか。

**答** 新しく事業をスタートする個人や事業者も含めて新たな分野で事業を行う場合で、あくまで町単独でやる場合について

該当させていきます。事業の可否については、審査委員会を設置し判断をしていきたいと考えています。

**問** 特にこういう事業の審査はハードルが高いので、ぜひ低くして町民の皆さんの利用度を高めたい。

**答** 今回のこの支援は、要綱として制定し、弾力的に、また即効性があるような形で運用し、働く場、空き店舗対策も含め推進をしていきたいと考えております。

本別公園維持管理業務

**問** ①従来の部分と業務内容がかわるのか。委託することによって、どのようなメリットがあるのか。②事務局はどこに置くのか。

**答** ①昨年までは、町が公園の管理業務を行っていましたが、観光協会として公園、観光施設等の管理、物産の販売、各種イベントの取り組みを、一括した観光行政ができるようにしました。②義経の館の1階に事務局を配置したいと考えています。

きらめきタウンフェスティバル

**問** 24年度の花火の寄付は。

**答** 24年度のきらめきの花火については、昨年いただいた予算の中で実施をしていきますので、協賛金等を集める予定はあり

りません。



2010年きらめきフェスタ

除雪・排雪

**問** ①町民の皆さんから排雪について非常に不十分だという意見があるが、機械の装備を含め、対応は。②全般的に、もう少し早めに除雪ができないか。③現場として10センチ程度ということで除雪の出勤をしているのか。

**答** ①当初の除雪の段階では両側に置いて

立木調査

**問** この調査をするのか。目的は。

**答** 本別中学校、仙美里の小学校と中学校の3校の学校林です。目的としては、植栽してから50年程度経過しているの、材積とその状況を確認し、今後の方向性を関係機関とも協議しながら進めるためです。

**問** 価値を下げないように対応できないか。



大通り商店街

## 答

全体の管理のあり方について検討、協議して、新しくしっかりとした計画をつくっていききたいと思っております。



伐期がきている本別中学校林

## 学校給食共同調理場改築調査設計

## 問

①へき地保育所への給食供給の考え方は。

また、高校について再度検討してはどうか。

②学校林カラマツ材の利用を提案しているが、どのように考えているか。

## 答

①へき地保育所については前向きに考えていきます。

高校の部分は、アンケートでは7割ぐらい希望して

## 答

①アレルギー対応の専用調理場を設けます。

②現状では、小中学生5名、新年度の入学生は3名です。新しい施設では、10名から15名程度、対応できる考え方で進めていきます。

## 介護保険事業特別会計

## 介護保険冊子

## 問

介護保険冊子説明では保存版と聞いたが、どういう内容か。

## 答

18年度に65歳以上の方がいる世帯に1冊、保存版として配布したものを改訂版でお配りしていきます。今後、改正のときには、町の広報等でお知らせします。

## 問

①食物アレルギーの対応は。

②現在、6校で食物アレルギーで医師の診断のある生徒は何人いるのか。就学前の調査で何人いたのか。

## 答

広報等ではなく、訂正版みたいな形で出せないか。

部分を町広報に折り込み、張りかえをしてもらうような方法を考えてみます。



はり絵を楽しんでいます(ゆうあいの里)

## 国民健康保険病院事業会計

## 外科診察

## 問

週に1回ぐらいは、午後の診察ができませんか。

## 答

外来のほかに午後勤務等もあり、やむなく休診にせざるを得ないという状況になっているので、現状ではなかなか難しいです。

## 公共下水道特別会計

## 個別排水処理

## 問

これから年度の途中で希望者があつた場合対応できるか。

## 答

浄化槽については、今年度8基を予定しています。2月末までで3基の申し込みです。柔軟に対応していきたいと考えています。



築40年が経過している学校給食共同調理場

## 食物アレルギー対応

## 問

①食物アレルギーの対応は。

②現在、6校で食物アレルギーで医師の診断のある生徒は何人いるのか。就学前の調査で何人いたのか。

## 答

財政的にも厳しいので、改訂になった



国保病院待合所

# 委員会公示レポート

## 総務

### 常任委員会

調査日／平成24年1月26日

#### ○いじめ、不登校に対する対応について

町教育委員会では、「いじめ」はどの学校、学級、どの子にも起こりうるとの認識で対応をしています。

平成23年度5月と11月に行われた「いじめアンケート」調査結果では、小学校では5月・52名、11月・45名、中学校では5月・7名、11月・16名が「いじめられたことがある」と回答しています。

さらにいじめが「今も続いている」と小学校では5月・30名、11月・19名が回答、中学校では5月・4名、11月・2名の児童生徒が答えています。しかし小学校では、「ある」も「続いている」もともに認知数「0名」であり、中学校においては「ある」の認知数は3名、「続いている」では認

知数が「0名」です。

児童生徒の受け止め方と学校側との思いの「ずれ」が無い、見極めが難しいと思われま

「不登校」については、小学校では平成20年度、21年度に1件、中学校においては継続的に毎年2〜5件が認知されています。

いじめ、不登校に対する対応については ①「生活指導連絡協議会」と②「子どもを育む環境づくり推進会議」等の設立、③教育次長、アドバイザーによる学校訪問、④本別中学校に加配教員1名、⑤全中学校にスクールカウンセラーを配置、⑥教育委員会に教育相談員4名を配置、⑦教育相談フリーダイヤルを24時間実施、(「ストップ・ざいじ

め子ども会議」等への児童・生徒の参加、) 標語、ポスター等の作品展の呼びかけなど、これまでに積極的取組みを展開してきました。平成19年以降につい

ては、いじめは減少傾向といえます。



未来を育む文教ゾーン

## 産業厚生

### 常任委員会

調査日／平成24年1月26日

#### ○生活保護世帯の現況について

##### 生活保護の制度

生活に困窮する町民の方へ、程度に応じて必要な保護を行い健康で文化的な最低限度の生活を保障しながら自立することを助けていく目的があります。

#### まとめ

全国では生活保護世帯が増加し、平成12年度と比較して16.9%127万4,231世帯(平成21年度)となつていますが、本別町では、10.2%73世帯で、横ばいの状況にあります。

現状の福祉制度は、申請主義のため、声をあげられない弱者や自力で生活しようとする人は救えません。そのためか、「孤独死」が増加傾向にあります。行政が高齢者、障がい者世帯に歩み寄る仕組みを考える必要があります。

また、一人暮らしの家庭が増加していることから、今以上に安否確認体制を強

#### 被保護世帯数の状況

| 区分 | 本別町 |       | 全 国       |       |
|----|-----|-------|-----------|-------|
|    | 世帯数 | 指 数   | 世帯数       | 指 数   |
| 12 | 71  | 100.0 | 751,303   | 100.0 |
| 13 | 76  | 107.0 | 805,169   | 107.2 |
| 14 | 75  | 105.6 | 870,931   | 115.9 |
| 19 | 68  | 95.8  | 1,105,275 | 147.1 |
| 20 | 71  | 100.0 | 1,148,766 | 152.9 |
| 21 | 73  | 102.8 | 1,274,231 | 169.6 |

化していかねばならぬと考えますし、そのためには町・自治会・民生委員・福祉関係者の連携が更に必要となつてきます。



保健福祉課窓口

# 行政報告

3月6日第1回定例会において、町長から行政報告がありました。（抜粋）



## 第1回定例会

### 本別町地域防災計画の見直し状況

本別町地域防災計画の見直しについては、北海道の指導等に基づき、①交通応急対策計画②上下水道施設対策計画③飼養動物対策計画④広域応援計画⑤災害応急金融計画⑥水防計画⑦ヘリコプター活用計画の7計画を追加、字句の追加、修正も行い、3月2日の防災会議で諮り了承されました。

現在、国の防災基本計画の修正に伴い、北海道地域防災計画の見直しが5月に道で決定予定のため、その後、それを受けてさらに本別町地域防災計画の見直しが必要となつてきます。

平成24年度は、北海道より本町内14カ所が「土砂災害警戒区域等」に指定される予定となつていることや、自治会等を対象とした「防災研修会」の開催等、また、職員を対象とした「災害時机上訓練」を実施します。

今後、地域においては、自主防災組織づくり・育成、災害時要援護者避難支援個別計画の取り組みを積極的に進め、避難場所、避難経路、福祉避難所等の整備、非常食など防災資機材の配置計画について、関係自治会等と検討、協議を進め、「防災ガイドマップ」を作成し、全戸に配布を予定しています。



さらに見直しが必要となる防災計画

### 太陽の丘循環バス「フリー降車」の実施と運行路線「近道コース」の新設

地域公共交通総合連携計画に基づき、コミュニティバスとしての機能向上を図るため協議を重ねてきた結果、次の2点の改正を行うこととしました。



フリー降車ができる循環バス

1点目は、利用者の利便性を図るために、交通量が多い危険な区間等を除く区間で、バス停留所以外でも降車可能とする「フリー降車」を実施します。

フリー降車の実施による定時運行については、ゆとりを持った時間設定をしているため定時運行は確保できるものと考えています。

2点目は、現行の北回り・南回り両コースの16時台の最終便を「近道便」として1便運行します。乗車可能な停留所は、病院、活性化センター、本別道の駅の3カ所のみとし、それ以降については、原則、北回り、南回りの順に最短路1トでの降車のみを行います。

### 常勤医師の確保

平成23年3月の常勤医師2名退職後、4月からの内科外来診療体制については、常勤医師2名で対応してきましたが、本年4月から常勤医師が勤務いただけることとなりました。新任医師の岩永健志医師は、消化器はもちろん内科一般を幅広く診ることができ、経験豊富な医師で、町民のかけつけ医として御活躍いただけるものと期待をしています。

外科については、引き続き医師確保対策に鋭意努力していきます。



岩永健志内科医師

意見書

第1回定例会では2件の意見書が提出され原案可決されました。意見書の要旨は、次のとおりです。

【要旨掲載】

**障害者自立支援法を廃止し、確実かつ実効的な障害者総合福祉法(仮称)の制定を求める意見書**

政府は障がい者制度の集中的な改革を行うため、総合福祉部会において、「障害者総合福祉法の骨格に関する総合福祉部会の提言」を取りまとめました。

しかし、新法の厚生労働省案は、内容を反映されたものとなっておりません。よって反映を強く要望します。

提出者 高橋利勝



消費税増税に反対する意見書

政府は、2010年代半ばまでに社会保障の財源として、消費税率を10%まで引き上げる方針を表明しました。

しかし、民間賃金は大きく減少し、中小零細企業は経営悪化に苦しんでいます。

このような中、消費税の増税はさらなる経済の破綻をもたらすものであり、消費税率の増税を行わないよう強く求めます。

提出者 阿保静夫



ユートピア



商工業者に  
活気を!



清流町 佐々木 等 さん

「今回は、昨年のナイター議会より傍聴者が少なかったように感じましたね」とおっしゃる北洋銀行支店長の佐々木等さんにお話しを伺いました。

「職員にもナイター議会の傍聴を勧めたいのですが年度末は忙しくて無理ですね。3月以外の月の方が良いのではないのでしょうか」とのご意見や「一般質問の内容が重複しているのは気になりましたね。理事者の答弁はもう少し簡潔にしてもいいのではないのでしょうか」とも話されました。

また、「本別には素材のいい物が沢山あるのでそれが有

効に活用されるといいのではないのでしょうか。議会に望むこととして「商工業者に活気がなければ町がうまくいかないのでは活気が出るような施策を考えて欲しいです。今後、高齢者が増えていくので、その高齢者を支えるための若い人の働く場が必要になってくるのではないのでしょうか」と話されました。佐々木さんは2年前の5月から、ご家族を札幌に残して清流町で単身赴任生活をされており、毎日行うランニングと体調管理のために、料理を作ること

議会日誌

〔2月〕

1/27～4日

- ほんべつ雪あかりナイト協力
- 1日 議員協議会、議会運営委員会
- 2日 産業厚生常任委員会
- 14日 町民懇談会 (本別町体育館・勇足地区公民館)
- 15日 町民懇談会 (健康管理センター・仙美里地区公民館)
- 16日 町民懇談会 (美里別地区公民館・世代交流館)
- 17日 池北三町議会情報交換会 (足寄町)
- 20日 議会運営委員会
- 22日 臨時議会、議員協議会、総務常任委員会、産業厚生常任委員会
- 十勝町村議会議長会定例会 (帯広市)
- 24日 第1回一部事務組合議会定例会 (帯広市)



〔3月〕

- 2日 議会運営委員会
- 6日 第1回定例会開会、議員協議会
- 9日 議会運営委員会
- 13日 本会議 (一般質問) ナイター議会
- 14日 本会議 (予算説明)
- 15日 議会運営委員会
- 16日 予算審査事前勉強会
- 19日 各会計予算審査特別委員会
- 21日 各会計予算審査特別委員会 議会広報特別委員会
- 23日 本会議 (議案審議)
- 26日 議会運営委員会
- 28日 池北三町行政事務組合議会定例会 (足寄町)

